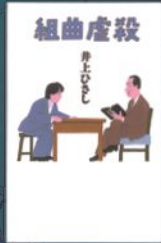


……絶望するには、いい人が多すぎる。  
希望を持つには、悪いやつが多すぎる。  
なにか綱のようなものを担いで、絶望から  
希望へ橋渡しをする人がいないものだろうか  
……いや、いないことはない。

——「組曲虐殺」より



集英社 2010年



平凡社 2013年

水から生まれたのだから  
わたしたちは水そのもの

——「水の手紙 群読のために」より



新潮文庫 2018年

生誕90年

# 井上ひさし展

むずかしいことをやさしく、やさしいことをふかく、ふかいことをおもしろく

こうやって、こころを合わせて

知恵を出し合って、

なにか新しいことを生み出すこと、

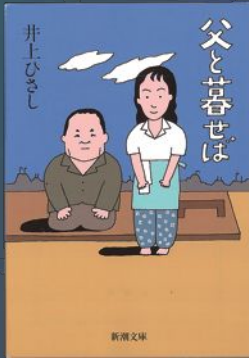
これがそもそも

魔法なのではないかしら

——「インソラ株式会社」より



中公文庫 2008年



新潮文庫 2001年

人間のかなしいかったこと、  
たのしいかったこと、  
それを伝えるんが  
おまいの仕事じゃろうが。

——「父と暮せば」より

人は言葉が無くては生きられない。  
そんなに大事な言葉を、  
自分一人の考えで  
勝手に売ッ払ッてかまわないと  
思っ居ンノガ。

——「新版 國語元年」より



新潮社 1990年

きみなしでは世界はいびつ  
きみがいてこそ世界はまるい  
もう——  
おわるんだ  
ひとりぼっちの  
かなしい夜は  
もう——  
ともだちとあえたから

——「決定版 十ひきのネコ」より

2024年  
9月14日(土)～11月24日(日)

開館時間／9:30～18:00(観覧受付は17:30まで) ※9月14日(土)は10:40開場 休館日／毎週火曜日  
観覧料／一般500円(400円)、大学生250円(200円)、前売り・一般400円(裏面をご覧ください。)

※( )内は20人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。

※次の方は、常設展・企画展ともに無料で観覧できます。小・中・高校生及びこれに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方。

主催／高志の国文学館 共催／富山新聞社、チューリップテレビ 特別協力／井上事務所、井上ひさし研究会、こまつ座、仙台文学館、遅筆堂文庫

生誕90年

# 井上ひさし展

むずかしいことをやさしく  
やさしいことをふかく  
ふかいことをおもしろく

## 泣くのはいやだ笑っちゃおう進め

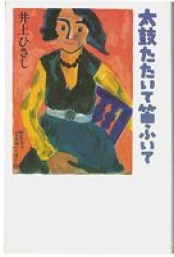
「ひょうこりひょうたん島」テーマソングより

小説家、劇作家と幅広く活躍した井上ひさし（1934～2010）は、自ら遅筆堂を名乗るほど遅筆でした。しかし、その作品の完成度は高く、笑い、ことは遊び、パロディ、どんでん返しなど、ことばの魔術師と呼ばれるほど日本語の豊かさとおもしろさにあふれています。

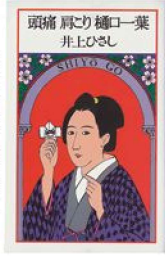
放送作家として手がけた『ひょうこりひょうたん島』は国民的人気番組となり、1972年に『手鎖心中』で第67回直木賞を受賞、1981年に刊行した『吉里吉里人』で、第2回日本SF大賞、第33回読売文学賞を受賞しました。1984年には劇団こまつ座を旗揚げし、『頭痛肩こり樋口一葉』と暮せば』など、演劇史に残る話題作を発表し続けました。生誕90年を記念する本展では、貴重な自筆原稿や創作資料、舞台映像などにより、井上ひさしの放送作家としての出発、小説の仕事、また、「演劇にはとてつもない大きな力がある」と語った戯曲の仕事を紹介し、その文学世界に迫ります。



井上ひさし  
撮影：佐々木隆二



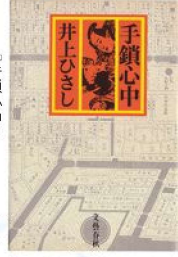
『大鼓たいてい笛ふいて』  
新潮社 2002年



『頭痛肩こり樋口一葉』  
集英社 1984年



『吉里吉里人』  
新潮社 1981年



『手鎖心中』  
文藝春秋 1972年



戯曲『国語元年』のための「買ってください」方言分布図  
(明治初年当時) 山台文学館蔵



小説『吉里吉里人』原稿 山台文学館蔵

### 関連イベント

#### 1 記念講演 ひさしさんの思い出

講師 井上ユリ(井上ひさし夫人)

聞き手 生田美秋(高志の国文学館事業部長)

日時 9月14日(土) 14:00～15:30

会場 当館 ライブラリーコーナー

◎申込必要 ◎参加無料 ◎定員 150名

#### 2 リーディング・シアター(朗読劇)

作 井上ひさし

作品 『水の手紙 群読のために』(平凡社)、  
『インソップ株式会社』(中公文庫)、  
『あくる朝の蝉』(四十一年少年文藝文庫より)

出演 館長室井滋、内浦純一、瀬尾智美、  
木下一哉、友井賢太郎(ヒール)

日時 10月12日(土) 18:00～19:30(17:30開場)

会場 当館 ライブラリーコーナー

◎申込必要 ◎参加無料 ◎定員 150名

#### 3 映画DVD上映会

作品 『父と暮せば』

(原作 井上ひさし 監督 黒木和雄  
出演 宮沢りえ、原田芳雄、浅野忠信  
配給 バル映画 2004年 99分)

日時 11月2日(土) 14:00・15:50

会場 当館 研修室101

◎申込必要 ◎参加無料 ◎定員 130名

#### 4

#### 担当学芸員によるギャラリートーク

(展示解説)

日時 ①10月6日(日) ②10月20日(日)

③11月3日(日) ④11月17日(日)

各回 14:00～(約30分)

会場 当館 企画展示室

◎申込不要 ◎要観覧券

◎申込方法 電話・FAX・WEB  
申込フォームにて、イベント名  
(複数可)と氏名・電話番号を当館  
までお知らせください。

※定員に達し次第、募集を終了します。

※FAXでのお申込で、定員に達している  
場合のみ当館からご連絡いたします。



申込フォーム  
[https://shinsei.  
pref.toyama.lg.jp/  
SksJuminWeb/  
EntryForm?id=X9UPUUHr](https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=X9UPUUHr)

## 高志の国 文学館

KOSHINOKUNI Museum of Literature

〒930-0095 富山県富山市舟橋南町2-22  
TEL.076-431-5492 FAX.076-431-5490  
<https://www.koshibun.jp/>

次回  
企画展  
予告

没後20年 詩と出会う旅  
南桂子の世界展  
2024年12月7日～2025年2月11日



### 利用のご案内

〈開館時間〉9:30～18:00(観覧受付は17:30まで)  
※9月14日(土)は10:40開場

〈休館日〉毎週火曜日  
〈観覧料〉一般500円(400円)、大学生250円(200円)、  
前売り・一般400円

[お求めは高志の国文学館、アーツナビで。文学館受付にて  
チケットに引き換えます。]

※( )内は20人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。  
※小・中・高校生及びこれに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方は、常設展・  
企画展ともに無料で観覧できます。

### 交通のご案内

- JR・あいの風とやま鉄道 富山駅南口から/◎市内電車  
「富山駅」のりばから大学前行または環状線「県庁前」下車、徒歩5分 ◎徒歩15分 ◎コミュニティバスまいどはや(西ルート)「富山中部高校前」下車、徒歩2分
- 富山空港から/◎タクシー 約20分
- 北陸自動車道富山ICから/◎自動車 約20分



こころにタップリ、えいようほぎゅう!



館長 室井 滋